For ADULT only
~教室編~
ここでするって本当ですか?

「なあ、ギャル子 学校もどらねえ？」
ふえ!?
『ここまで来てなに言ってんの
早いとこカラオケいこ～よ～!!
あ もしかして忘れ物…？』
「違うけど… いいからもどろうぜ」
『はあ!? ぜんぜん意味わかんないんですけど!!』
坂上

…へっ
やっ!? ちょ…っ
…イタいっ！ イタいよお!!
「いいから！ 戻るっていったら 戻るんだよ!!」
「早くこいよ！ このまま おっぱいごと引っ張ってくぞ」
『やだやだ！ こんなとこでなにやってんの バカ!!』
ぎゅっ
ぎゅっ

う うっそ!!
ちょ やめ…
「学校に戻らないなら ここですんぞ!」
『ななななななんなの?? ここでするって何なのおっ?』
「風が吹くたびにギャル子が ぱんつチラチラさせるから ちんこ苦しくて死にそうなんだよ どうしてくれんだよ!?」
『ま 待って ヤダヤダ! こんなとこでやめてよおっ!! それ 犯罪なんですけど!』
ぎゅん
ぎゅん
ぎゅん

「いやならここではじめてもいいんだぜ？」
『外でするなんてちょー ありえないんですけどっっっ！
やだやだ おっぱい誰かにみられちゃううっ』
わかった わかった
学校もどる！ もうっ
「いいじゃんか どうせばんつ見せて歩いてんだから
ついでにおっぱいもみんなに見せてやれよ(笑)」
あぁ
ハァハァ
ハルミ
ビクンッ
くりゅ

『なんだかよくわからないけど
さ　早く学校もどろう　ね♡』
「普通に学校もどるのつまんねえから
じゃんけん負けた方が　つぎの電信柱まで
ばんつ見せながら歩こうぜ」
ここ　え？
ミ
『え　えええ～っ!?』
「はじめるぞ　じゃんけん　ポン！
はい、オレ　ぱー　ギャル子　ぐー
ギャル子の負け～っ!!」

そんなことしてないっ!!
ひとを露出狂みたいに
いわないでほしいんですけど!!
『う　うるさい！　よけいなお世話!!
ひとが来ないか見張ってなさいよおっ』
…でもこれじゃ
完全に露出狂にしか
みえないじゃん…
「今さらなに恥かしがってんだよ(笑)
毎日ぱんつ見せまくって歩いてるくせに」
「ギャル子って見かけによらず
ぱんつはおとなしいのな
ド派手な赤とかエロい黒とか
履いてんのかと思ってたよ」

『電信柱まできたよ！
もう終わりでいいでしょ？』
「じゃあここでまた じゃんけんな
じゃんけん ポン！
はいまたギャル子の負け～（笑）」
もうムリ！！ こんな
はずかしいのヤダ!!
『きゃーっ返してえ!!
スカート返して～っっっ』
「ぱんつよく見えねえから
ここからスカート脱げよ
そら、スカートいただき～っ♡」

「オレばっか発情してヤりたがってんのなんかカッコ悪くない？　不公平じゃんなあギャル子　ここでオナニーしろよ俺のチンポ想像しながら(笑)」
『突然なんなの？バカなの？？そんなのするわけないじゃん!!』
「じゃあ別れようぜ　オレ2組の藍那に告られてて返事　困ってたんだよね…藍那も悪くないかなって思ってたとこだし」
『な　なんでそんなこと言うの…？』
信じらんない!!
「ギャル子がオナニー見せてくれないから」
『わ　わかったわよ…言う通りにするから…もうそんなこといわないで…』
…ちょっとだけだからね　本当にちょっとだけだよ　すぐやめろよ…!

『恥ずかしいから…あんまり 見ないでね』
「ちゃんとオレのチンポ
頭に思い描いてるか(笑)」
「うん うん …してるよ」
「あれ? なんで 泣いてんの?」
『だって急に別れるとか
言うんだもん…
涙でるよ! …ばか』

「オレのテラちんぽ ギャル子のまんこにズボズボ入ってるか？」
『うんうん！ 出たり入ったり じゅぼじゅぼしてるうううっ』
「本物のチンポほしい？」
したい っ すっごく したくなっちゃったあ
もうガマンできなくなっちゃってるんですけどお!!
『うんうん！ 欲しい!! あったかくて大きい本物のおちんぽ欲しいいっ！』

「もっとハッキリ言えよ！
チンポどこにどうして欲しいんだよ？」
『…もう、そんなこと
言わせないでえっ』
「言わないなら オレ帰るわ」
『あ 待って…っ！ 言うから
今 …言うからあ～っ!!』
「聞こえないから
やっぱオレ帰るよ
じゃあな！」
おお…こんな
早くいれて…
おお おちんちん わたしの
おまんこに早くいれてえっ
もお～っ これ以上
大きな声出したら
ポリス来ちゃうよお～

「さあ 学校ついたぜ！
さっそく壁に手をついて
ケツ突き出せよ」
『えぇ!? ここ玄関だよ…？
まだ部活とかで残ってる
生徒が通ったりすると
思うんですけど…』
「…そっか
別れたいのか
悲しいな～…」
こ こう？
こうなの…!?
「そのまましり文字で
ちんぽ入れてって
書いてみろよ(笑)」
「読めなかったらタイキックな！」

「ギャル子　アウト～っ!!」
!!
きゃあああああああっ!!
バフッ
「そんな大声出したら誰かくるぜ
ギャル子 リアクションよすぎ(笑)」
『リアクションじゃない!
本当に痛いの!! バカ!
手加減しなさいよっ!』

「このデカ尻にオレのおちんちん
ブッ刺して欲しいんなら
もっとがんばれよ～！」

ぱ とか
難しいよ
こうこ？

ふぁあ… あ
お願い 今はだれも
通りかからないで!!

「よく読めないから
ぱんつを引っ張り上げて
もっとクイ込ませろよ！」

ドキドキドキドキドキドキ

『ぱ ぱんつは関係ないっしょ!!』

「口ごたえしたからペナルティーな
このまましり文字続行〜っ！」

あぁ〜〜♡

ハァ

ハッミ

ハァハァ

ムチ

ひくひく

ケツ

ケツ

ムチ

あ♡

あ♡

ばぁ♡

…そ　そんなのムリだよ
ムリいいいいいいっ!!

ハッミ

「今度はまんこに入れてって
はっきりわかるように書いてな」

ハァハァ

ハッミ

なんでそんないかがわしい
ものがカバンから出て
くるのおっっっっっっ!?

大きい！　大きい!!
音でかすぎっしょっ!!
誰かきちゃうんですけど

「ギャル子のデカ尻ながめてたらオレの方が限界だわ」
んこっ
んこっ
んぶうっ
ぼっ
んんこっ
じゅぼぼじゅぼぼじゅぼぼじゅぼぼ
ん…っ
ぼぼぼおうっ！
「ほら、ギャル子の大好きなおちんちんだいっぱいべろべろしていいぞ～っ！」

「もうガマンできねえ
もっとケツ上げろよ！」

こうそ？

あ♡

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

あ♡

あ♡

あ♡

無理むりムリ！
ここじゃムリ!!
絶対だれかに
見られちゃううっ

ドガ

ドガ

『や　ちょ…っと 待ってまって
外で部活やってる子達から
見えちゃうよお～っ！　ねえ？』
「いいじゃんか、見せてやれよ！
ギャル子のまんこにチンポが
出たり入ったりするところを
ギャル子そーゆーの好きだろ(笑)」
見えちゃう！
見えちゃう!!
外から絶対
見えるうっ!!
『そんな趣味ない！
全然ない～っ!!』
ハッミ
ハッミ
ハッミ

「ギャル子恥ずかしがるとおまんこがきゅんきゅん締めつけて気持ちイイからこのまま教室に移動しようかな」
『え…？　このまま？？？』
「途中でチンポ抜けたらここからやり直しな！」
へ？　へ!?
階段とかあるんですけど…？？
あぁ♡
はーぁ♡
ぁぁー♡
ハァハァ
ハァ
ハァハァ
ハァハァ
ハッハッ
ハッハッ
パパパ
パン
パン
パン
パン

ありえないんですけど こんなエッチな 二人三脚…!!
「ほら、歩け! 歩け! ちんぽ抜けないようになな!!」
このままで 階段なんか 上がれるわけ ないでしょっ!!
ハッミ
ハッミ
ハッミ
ハッミ
ハッミ
ハッミ
ぱぁん♡
ぱぁん♡
パパパ
パン
パン
パン

…あ、ここ曲がるのもっとゆっくり…！
ここ　ここは奥まで深く入れたままそ～っとね！そっと…
「なんでもすぐに一生懸命になるギャル子好きだぜ！」
「ちんぽ抜けたら玄関からやり直しだからな(笑)」
「もっとケツを突き出してオレに擦り付けないとちんぽ抜けちゃうぜ！」
ハァハァ
ハッハッ
パンパン
パンパン

「よし、もうすぐ教室だ！
心おきなく激しくやろうぜ」

もうとっくに心おきなく
ずっと好き勝手放題
ヤってるじゃんよ～っ!!

ハルミ
ハァハァ
ハルミ
ハルミ
ハァハァ
ハァ
ハァハァ
ハルミ
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン

「なんだかんだ
文句を言っても
ギャル子の陥没乳首
ビンビンじゃん♡」

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

ぴくっ

ぷるぷる

ぷるん

う　うるさい!!
陥没乳首ゆーな!

ふあ…っ　らめ、
おっぱい　…声
声でちゃうううっ!!

ぷるん

キュウウウ

ぷるぷる

「川で溺れてる子供を
ギャル子のブラジャーで
助けたって本当なの？」

はぁん♡

そんなわけないでしょっ！
わたしのかわいいブラは
命綱になるほどデカくない!!

『はあ…はあっ　いっちゃう…！
それ以上おっぱいイジられたら
いっちゃう いっちゃう!!
おっぱいでいっちゃうううっ』

「うそな」
ぷるるん
ぷ…ぷぷ…
ぷ…ぷぷ…
ぷ
ぷ
ぷ

「ちゃんと外に出すから大丈夫！もっと脚広げろよ！」
そ　そーゆーの許せないんですけ…あ　ふにゃあっ
ハッミ
ハッミ
ハッミ

「ゴムだろ？平気だよ
ちゃんと外に出すから」

ふぁあぁぁぁ
わらひの話ひ
聞いれよぉぉ

そーゆうの
らめらんらよ
女の子が一番
傷付くんらから

ハァ
ハァ
ハッハッ
ハッハッ

ふぁぁ…？　ちょっ　れれるぅ！
ガマン汁　きっといっぱいれれるうぅぅ
お願いらからゴムはちゅけれよぉぉ

ゴムゴムゴム

ふぁあああ～
わらひの話
聞いれよ～
「はいはい、
強度MAXね♡」
ばぁあ♡
あぁ～♡
あぁ～♡
あぁ～♡
ハッハッ
ハッハッ
ハッハッ

「なあギャル子 ここでやめよっか？」
『…え、えええ？ なんでえ？？？』
「だってゴム着けてないし そんなのやっぱりダメだよな」
あ～… 安全日だった！ 今日 絶対安全日だった!! ……気がする♡
ハッ
ハッ
ハッ

「やったね！ それじゃあ今日は派手に中出しなっ!!」
へ…あ ああ でもそれはちょっと…
安全日とかいっても わたし…生理とか 結構不安定だから その…ズレてたり
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
パンパン
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ

「へいき へいき！
オレの子を孕んだら
結婚しようぜ(笑)」
『ウソ！ どうせ
今日一発中出ししたら
わたしなんて後は面倒で
ポイなんてしょう！』
「そんなことないぞ？
一発どころか何発も何十発も
してからポイだぞ(笑)」
そんなのやだよお～っっ!!
「クリトリス刺激すんと
いくらでもマンコ絞まって
ギャル子おもしれ～(笑)」

『わたしいいお母さんだけじゃなくいい奥さんになるから…』

はぁ…

お願い… 卒業したら思いっきりわたしの中にいっぱい出して

約束してくれるんならもっと もっと…なんでもするんですけど…

はぁ

ハァハァ

ハッハッ

ハッハッ

ハァハァ

ハッハッ

ハァハァ

ハッハッ

ぴくぴく

ぶるんぶるん

ぬぬぬ

じゅぽじゅぽ

じゅぽじゅぽ

じゅぽじゅぽ

「ふ～ん、本当になんでもするの？」

『うん…大好きだもん なんでもしちゃう♡』

「SMプレイとかは？」

いっ…いいよ

「近所の公園で全裸放置とか
してもいい？もちろんバイブは
ぶっ刺したままだけど」

なるべくあったかい季節にね…寒いのはカンベンだから

「アナルとかも犯っちゃってもいい？」

『う…んん すごく怖いけど
やさしく…してね♡』

「ギャル子きっと いいお母さんになるよ」

『照れるからそんなに褒めないで…キャ♡』

ハァハァ
ハッハッ
ハッハッ
ハッハッ

「ギャル子のイキ顔ちょー かわいいから動画に撮っておいていい？」

『そ そんなの撮ってどうすんの？』

「ギャル子に会えない時に見るんだよオレに浮気してほしくないだろ？」

うん… そんなのヤダ

「じゃあいいだろ？ 寂しい時はこの動画で一人オナニーして満足するからさ」

それならいいよ きれいに撮ってね

「まんこも撮るよ」

『うんうん♡ きれいに撮ってね♡』

「ほら、もう撮ってるよ」

『や～ん♡ こんことなら先週エステいっておけばよかったよお～っ』

ぴ ぴーす♡

「へいきへいきギャル子はそのままで充分エロいから」

『そ そんなに褒められると恥ずかしすぎるんですけど♡』

「いいイキ顔を残しておきたいからちょっと激しくいくぜ！」
ああああああああっいくいく…いくいちゃうううう
やあああああ！恥ずかしいからこんなところ撮らないでえっ!!
「スマホ防水にしといて正解だったわ～(笑)」

うん♡いいよ
やさしいね…
ありがとう
お礼におっぱいで
してあげるね♡
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
「動画も撮らせてくれたから
中出しはガマンして外出しにするわ…
その代わりギャル子の顔に出していい？」

「大丈夫、大丈夫
ニコ動にUPしたり
友達に一回五千円で
視聴させたりしないから
たぷん(笑)」
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
たぷっ
『それからさっきのおまんこ動画
絶対に誰にもみせちゃダメだからね♡』

げほ げほ …ごぶうっ
ごほおっ！
もっともっとがんばるんですけど♡
わたしいいお母さんになるためなら
けほっ けほ…
ドボ
ドロ
ズビュビュ

お尻のモミモミぱんつからハミ出てないよね？
だ、だだだだ大丈夫だよね!?